

# 平成22年第4回定例会一般質問

平成22年12月6日・7日

(10枚のうち1枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	5番 諏訪 信一議員	20分	1 平成22年度全ての事業の実施状況について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 当初計画通り遂行されているのか。</li> <li>2 執行できなかった事業はないのか。</li> <li>3 あるとすればその原因は何か。</li> </ol>	市長	
			2 TPPの影響は	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 TPP（環太平洋連携協定）の本市の農業、林業への影響はあるのか。</li> <li>2 県は農業生産額1,800億円の損失と言われているが、本市の場合、具体的に何にどのような影響があるのか、伺いたい。</li> </ol>	市長	

# 平成22年第4回定例会一般質問

平成22年12月6日・7日

(10枚のうち2枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	10番 鶴田 公紀議員	40分	1 主要施策について	総合振興計画が3月に策定されるが、平成23年度における重点事業（目玉）は何か。	市長	
			2 当初予算の概要について	重点施策に伴う予算の概要（配分）と一般会計の予算額について	市長	

## 平成22年第4回定例会一般質問

平成22年12月6日・7日

(10枚のうち3枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	16番 鶴木 誠 議員	30分	1 伊佐市の将来に向けて	<p>合併後2年間、市長及び職員はあらゆる気配りで両市町の一体化のため努力されてきた。その成果は出てきていると思う。</p> <p>しかし、本市の状況は人口減少が示すとおり、その勢力はひしひしと衰退を感じる。その対策として合併後進める諸政策は目論見通り進んでいると思うか。</p> <p>1 医療、介護、福祉の各分野による整備を進めることにより、雇用の確保をすると共に、定住促進を目指そうとしているがこれまで事業を進めるなかで当初の目論見が見込めそうか。また、その目論見に対して足りない部分、今後更に力を入れたい事を伺いたい。</p> <p>2 人口減少対策で企業誘致活動やI・Uターンを促す定住対策は真の方策と言えるのか。</p> <p>団塊世代の定住促進だけでは本市の未来は考えられない。生産人口が一定の維持が出来なければ、今後自治会までも維持が困難な所が多く出てくる。</p> <p>例えば人口対策の一つとして本市内の未婚者数などをチェックしたことがあるか。総務委員長の行政報告でもあったように行政が婚活を企画しているところもある。これらを含め今後どのような対策が必要と考えているか。</p> <p>3 道路や市営住宅環境整備を含めたインフラ整備をどう進めるか伺う。</p> <p>これまでも言い続けていることであるが、子育てにやさしい街として売り出すためには霧島市や鹿児島市などが安全な通勤圏となる早期整備が必要ではないか。</p> <p>また、市営住宅管理のなかで安心できる子育て環境をどのように考えているか。</p>	市長	

# 平成22年第4回定例会一般質問

平成22年12月6日・7日

(10枚のうち4枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	4番 前田 和文議員	40分	1 地域農業対策について	<p>1 政府の「TPP交渉への参加検討」に対し、伊佐市としてどのように取り組むのか。</p> <p>2 農協の合併により、埋もれてしまいがちな伊佐の地域ブランドを再構築する必要があるのではないか。</p>	市長	担当課長
			2 学校教育について	<p>1 小・中学校通学区域に関する規則は、どのように運用されているのか。</p> <p>2 全国的な報道によると、校内でのいじめによると見られる悲惨な事件が後を絶たない、当市の学校現場および教育委員会の対策は十分なされているのか。</p>	教育長	担当課長

# 平成22年第4回定例会一般質問

平成22年12月6日・7日

(10枚のうち5枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	13番 福本千枝子議員	40分	1 伊佐市の活性化について	<p>1 人口増対策として体験住宅や空き家活性化事業を進めているが成果はでているか。</p> <p>2 企業立地等促進条例が制定された。雇用促進の為に期待しているが、何か動きがあるか。</p> <p>3 今年も曾木の滝の紅葉は美しく、「もみじ祭り」を待たず、休日には車の渋滞が続き、多くの観光客が訪れたことは大変有難いことである。来年3月の新幹線全線開通に伴う早めの観光PR戦略が必要と考えるが。</p> <p>4 大口高校ラグビー部の活躍は伊佐市民に元気を与え、また先日のドリームベースボールは市外を含め、約2,700名の参加で賑わった。このようなスポーツ交流をどう考えるか。</p> <p>5 伊佐市には歴史的な作家や日本を代表する漫画家、画家、音楽家等、多彩な芸術家が活躍しておられる。もっと県内や全国に情報発信し、「文化芸術のまち」として伊佐市のまちづくりに活用できないか。</p>	市長 教育長	

## 平成 22 年第 4 回定例会一般質問

平成 22 年 12 月 6 日・7 日

(10枚のうち6枚目)

順位	発 言 者	発 言 時 間	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	15 番 森山 善友議員	20 分	<p>1 市道、農道、林道、公衆用道路（生活用道路）の管理について</p>	<p>1 市内の国道、県道、市道、農道、林道、公衆用道路（生活用道路）の総延長について</p> <p>2 各道路の区別方法と管理について</p> <p>3 今後の道路、整備の考え方について</p>	市 長	担当課長
			<p>2 伊佐農業の方向性について（T P P 関連を含む）</p>	<p>1 玄米 30kg、昨年は農協仮渡し 6,500 円、今年は 5,300 円、1 年で 1,200 円の下落、まったく予想しなかった価格である。その大きな要因は何によると思われるか。</p> <p>2 今年の伊佐の米の 10 a あたり収量と生産費について</p> <p>3 これからの伊佐農業の基本的な方向性と、また T P P（環太平洋経済連携協定）が仮に結ばれた時の伊佐の農業はどんな所がどのように変わると思われるか。</p> <p>4 政府は来年 6 月までに T P P 参加を検討する。それまでに農業の基本構想を打ち出すとっている。これは T P P 参加を考えての基本構想であると考えられる。食糧自給率 50%を目指す国が、自給率 18%へ進んでいくわけで、方針決定までに何か打つ手はないか、市長の考えを伺いたい。</p>	市 長	担当課長

# 平成22年第4回定例会一般質問

平成22年12月6日・7日

(10枚のうち7枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	11番 左近充 議員	30分	1 飼料米の栽培推進を	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食料米下落による対策を。</li> <li>・飼料米を養豚場へ。</li> <li>・穂、茎葉を丸ごと刈り取り、発酵させるWCS用稲の栽培を。</li> <li>・WCS用稲の栽培条件は。</li> </ul>	市長	

# 平成22年第4回定例会一般質問

平成22年12月6日・7日

(10枚のうち8枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	3番 久保 教仁議員	25分	1 国に左右されない農政ビジョンを示せ	<p>1 米価が下落し、JAの仮渡金も大幅に下げられ、1等米比率も低下している。稲作農家の所得は必然的に大きな打撃を受けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の米の販売収入は、10年前、前年と比してどのくらい減収になるか。また、作付面積はどうか。</li> <li>・米価の下落、TPP等で国の農政が不安定の中、県下一の水田地帯として、稲作で独自の施策を講じるべきだ。具体的に検討すべきではないか。</li> <li>・6月補正で、焼酎用麴米生産拡大に予算化しているが、これと同じく、米粉用米の作付け拡大→米粉製粉工場→米粉を使ったパンなどの製造販売施設をつくり、農家の水田活用・所得の向上を促し、雇用拡大につながるような施策を、うまい伊佐米の産地として考えられないか。</li> </ul> <p>2 子牛のセリ市がさつま町で行なわれるとのことだが、生産農家への説明・対応は十分に成されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伊佐の子牛生産農家にとって、さつま町でセリ市を行なう利点と不利益を検証されたか。</li> </ul>	市長	



# 平成22年第4回定例会一般質問

平成22年12月6日・7日

(10枚のうち9枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	17番 中村 周二議員	20分	1 23年度予算編成に伴う新規事業、重点事業について	12月からの来年度予算編成にあたって、新しい企画で、目玉になるような企画があれば伺いたい。(特に市民が元気になるもの)	市長	

## 平成22年第4回定例会一般質問

平成22年12月6日・7日

(10枚のうち10枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	12番 柿木原榮一議員	30分	1 介護保険制度第5期について	<p>1 介護の社会化を目的に2000年度に施行、40歳以上が保険料を払い、要介護認定を受けた原則65歳以上が介護サービスを利用できる制度であるが、2012年度から第5期が始まる。厚労省の12年度の介護保険制度改正に関する部会で示した意見書案に対して市長はどのように感じておられるのか。</p> <p>2 ケアプラン作成の有料化案により、高齢者の負担が増えることになれば、予防を促す理念から遠くなるとの指摘があるが、受け皿となる伊佐市はどう考えているのか。</p> <p>3 ケアプランは自分でも作ることが認められているが、市民団体の調査で要介護者で作成している人は、0.01%に過ぎないが、保険者である市町村の事務量の負担が増大することに対する市長の考えは。</p> <p>4 過去3回改正があったが、改正のたびに使いにくくなっているとの声が聞こえてくるが、市長はどう思っているのか。</p> <p>5 このまま厚労省素案が決定したら、伊佐市の介護保険料は如何程になるのか。</p> <p>6 厚労省素案は伊佐市介護事業にどのように影響を与えるのか。</p>	市長	
			2 大口里区域の市道城下線(大口郵便局から市役所・伊佐警察署通り)の改良工事について	<p>1 大口幼稚園・大口小学校・大口中学校・大口高校への通学路であり、7時から9時まで片側規制で道路も狭く、かまぼこ状態になり、住民・利用される方に不便をかけているが、市長はどのように感じているのか。</p> <p>2 道路の改良工事及び排水路の整備はできないものか。</p> <p>3 街路事業等でできないものか。</p>	市長	